

令和5年度第1回岩手県企業局経営評価委員会 議事録

令和5年7月26日(水) 13時30分 から 14時50分 まで  
岩手教育会館カンファレンスルーム200

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議題
  - (1) 令和4年度経営実績の評価について
  - (2) 第2期中期経営計画の方向性について
  - (3) その他
- 4 閉 会

委員長	一関工業高等専門学校	明石 尚之
委員	いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社	阿部 瑛子
〃	岩手県立大学総合政策学部	泉 桂子
〃	早稲田大学水循環システム研究所 株式会社群馬東部水道サービス	瀧川 進
〃	盛岡ガス株式会社	松川 顕
企業局	局長	中里 裕美
〃	次長兼経営総務室長	佐々木 真一
〃	技師長	村上 敏弘
〃 (経営総務室)	予算経理担当課長	菊地 教文
〃 (業務課)	総括課長	高橋 浩
〃	事業担当課長	菅原 英明
〃	電気課長	白井 孝明
〃	土木・施設担当課長	小西 達哉
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	山谷 紀彦
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	室月 敦
事務局	経営総務室 経営企画課長	伊藤 隆行
〃	経営総務室 経営企画担当 主査	菊池 智也
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	中村 圭佑
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	桂 誠之
〃	経営総務室 管理担当 主任主査	加藤 真知

(委員 50 音順 敬称略)

---

---

(発言者)

(発言内容)

【 1 開 会 】

佐々木次長 定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第1回岩手県企業局経営評価委員会を開催いたします。

開会に先立ちまして、本日出席しております名簿記載の職員のうち、今年度の定期人事異動によって異動・新任いたしました職員をご紹介します。

まず、局長の中里 裕美でございます。

次に、技師長の村上 敏弘でございます。

次に、業務課総括課長の高橋 浩でございます。

次に、事業担当課長の菅原 英明でございます。

次に、電気課長の白井 孝明でございます。

次に、土木・施設担当課長の小西 達哉でございます。

次に、施設総合管理所長の山谷 紀彦でございます。

以上、7名でございます。よろしくお願いいたします。

この岩手県企業局経営評価委員会は、基本的に公開として開催することとしており、ホームページ等でも掲載しているところです。本日の傍聴は報道関係者1名となっております。

それでは、お手元の次第により、進行して参りたいと存じます。

開会に当たりまして、企業局長の中里よりごあいさつ申し上げます。

【 2 挨 拶 】

中里局長 本日は、お忙しいところ、そしてお暑い中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

4月から企業局長を務めております中里と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、「昨年度の経営状況の評価」と「第2期中期経営計画の方向性」が議題となっております。皆様からご意見を頂戴したいと思います。

当局各事業の現状についてでございますが、電気事業では、稲庭高原風力発電所再開発事業が昨年度完了しました。また、工業用水道事業では、新北上浄水場の一部給水開始に向けた整備が進められたところでございます。そういった成果が出ている一方で、2050年カーボンニュートラルや働き方改革への対応など、今後を見据えますと、なかなか、これまでどおりのやり方や考え方ではなかなか上手くいかない課題なども見えてきているところでございます。

そういったことも踏まえまして、そういった課題に対し、第2期中期経営計画を策定し、対応してまいりたいと考えているところでございます。様々な見地から、忌憚のないご意見をいただければと存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

佐々木次長           それでは議事に入りたいと存じます。  
                          以降の議事進行は、明石委員長にお願いしたいと思います。

【 3 議 題 】

(1) 令和4年度経営実績の評価について

明石委員長           委員長の明石です。よろしくお願ひします。  
                          それでは、事務局から配布されておりますタイムスケジュールに沿って進めてまいりますので、進行にご協力をよろしくお願ひいたします。  
                          本日の内容ですが、令和4年度経営実績の評価及び第2期中期経営計画の方向性についてご意見をいただきます。  
                          では早速、令和4年度経営実績の評価から始めたいと思います。説明と質疑応答は、電気事業、工業用水道事業、組織力向上と地域貢献の3つに分けて行います。  
                          それでは、電気事業について、事務局から説明をお願いします。

令和4年度「電気事業」の経営実績の評価について  
伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和4年度経営評価（実績）の総括

資料2 令和4年度経営評価総括表（実績）

参考資料2 令和4年度取組内容一覧表

明石委員長           ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。  
泉委員                質問が2点、指摘が1点あります。  
                          資料2の4ページ、(2)取組内容の進捗状況について、取組内容の表中②ア胆沢第二発電所の再開発の成果がBとなっておりますが、理由を教えてください。  
                          四十四田ダムの嵩上げに関する表記について、四十四田ダム再生事業や北上川上流ダム再生事業といった記載がありますが、これらの事業は同じものでしょうか。  
                          資料1において、一部でフォントの誤植があるので、修正していただきたい。

白井電気課長        ご質問の1点目について回答します。  
                          令和4年度に胆沢第二発電所の代替放流設備の工事がございました。この工事は再開発に伴い長期間発電所が停止しますので、農業用水を供給するための代替設備を整備しているものです。こちらの土木工事で一部繰越しがございましたので、Bという評価になったものです。

小西土木・施設担当課長       ご質問の2点目について回答します。  
                          大元の事業は北上川上流ダム再生事業でございまして、その中に四十四田ダムの嵩上げが位置付けられています。事業としては同じものですので、表記については見直します。

溝川委員            資料2の1ページ、供給電力量について、令和4年度実績は5億8千万kWhで、残念ながら経営目標に対する達成率は98%とのことですが、令和3年度の供給電力量の実績は5億6千3百万kWhで、前年度よりは良くなっています。参考資料1では前年度と比較して供給電力量の実績は良かった

と表現されているので、計画は達成できなかったが、業績は良かったということになると思います。

そういう意味で、資料2の4ページ、新規開発・再開発による供給電力量が、年度計画を作るにあたって大きなウェートを占めているのではないかと思います。計画の考え方について概略を説明してください。

白井電気課長 第1期中期経営計画は令和元年度に策定したものでして、策定時点において把握しておりました向こう3年間の工事計画や停止計画等を勘案して、3か年分の経営目標を設定したものです。

一方で、毎年、予算を編成し事業を実施いたしますので、毎年の目標値はローリングしながら設定しています。

稲庭高原風力発電所の再開発事業の遅れなどが影響し、経営目標の達成率が小さくなったということです。

阿部委員 資料1の1ページ、主な成果等の(3)について、「四十四田発電所において試行的に洪水後期の放流を活用するなど」と記載がありますが、こちらについて2点伺います。

内容については報道などで承知しており、既存設備の有効活用ということで素晴らしい取り組みだと思います。どの程度、発電電力量の増加があったのか教えてください。また、今後も継続して運用するにあたって、課題などがあれば教えてください。

資料3の第2期中期経営計画の方向性においても、未利用ポテンシャルの活用とあり、このような取組を拡大していく予定があれば教えてください。

白井電気課長 ご質問の1点目について回答します。

令和4年度の実績で約8万kWhの増量となっています。これは、一般家庭に換算しますと約300世帯分が1か月で使用する電力量に相当します。

こちらの取り組みについては、四十四田ダム以外でも、今年度から御所ダム、湯田ダムにも拡大していく予定です。

伊藤経営企画課長 ご質問の2点目について回答します。

第2期中期経営計画においては今後検討していきます。素案ができましたら委員会でご意見をいただきますのでよろしくお願ひします。

阿部委員 ありがとうございます。安全性との兼ね合いについて不安もあるかと思いますが、いろいろとご議論をいただければと思います。

明石委員長 そのほかご質問、ご意見等はございませんか。

なければ、引き続き、「工業用水道事業」について、事務局から説明をお願いします。

令和4年度「工業用水道事業」の経営実績の評価について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和4年度経営評価（実績）の総括

資料2 令和4年度経営評価総括表（実績）

参考資料2 令和4年度取組内容一覧表

- 明石委員長 　　ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。
- 松川委員 　　資料1の2ページ、主な課題と今後の対応について、実績の評価からは外れてしまいますが、収支に影響がある点かなと思ってお聞きします。
- 新聞報道によりますと、工業用水施設の新設に対する補助金が2024年度から再開するとのことですが、新北上浄水場の第2期建設工事は補助金を申請されるのか教えてください。
- 菅原事業担当課長 　　過日、新聞報道がございました工業用水道施設を新設する事業への補助金の動向についてですが、6月に開催されました経済産業省の審議会において意見聴取が行われたところです。その際、経済産業省からは半導体産業の動向を踏まえまして、新設する事業にも補助金を交付する方向で検討しているとのことでした。要件等については検討段階とのこと、新北上浄水場第2期建設工事が対象になるかは不透明な状況です。概算要求や政府予算案の決定等の段階で情報が出てまいりますので、企業局としては、引き続き情報収集に努めてまいりまして、補助金を活用できるならば活用していきます。
- 濤川委員 　　資料1の2ページの冒頭で、「電気料金の高騰などによって営業費用が大きく増加したことから、経常収支比率は経営目標が未達となりました」と記載がありますが、概略で結構ですので説明をお願いします。
- 菅原事業担当課長 　　営業費用の大きな増加についてですが、動力費が前年度比で44%ほど増加したことが大きな要因と考えているところです。電気料金の値上げが経済産業省で認可されていますので、今後、更なる影響が出てくるものと考えています。今後生じる費用の動向を踏まえながら、どのような影響が生じ、どのような対策が必要か注視してまいりたいと考えています。
- 濤川委員 　　ありがとうございます。
- お客様への料金値上げは考えていないのでしょうか。
- 菅原事業担当課長 　　料金の値上げは、経済産業省の認可と条例改正が必要となります。その前にはユーザー様のご理解も必要となりますので、単純に転嫁ができるのかといった点も含めて慎重に検討していく必要があると考えています。
- 明石委員長 　　そのほかご質問、ご意見等はございませんか。
- なければ、「組織力向上と地域貢献」について事務局から説明をお願いします。

令和4年度「組織力向上と地域貢献」の経営実績の評価について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和4年度経営評価（実績）の総括

資料2 令和4年度経営評価総括表（実績）

参考資料2 令和4年度取組内容一覧表

---

明石委員長 　　ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

泉委員 　　　　質問が1点あります。

　　　　　　　　資料2の11ページ、(2)取組内容の進捗状況について、取組内容の表中③イ職場の働きやすさ向上の進捗がaでしたが、成果がBとなっています。理由は、入札不調によって早池峰発電所への女性用トイレの整備を見送ることとしたためでしょうか。

伊藤経営企画 　　委員ご推察のとおりです。

課長

松川委員 　　　　資料1の3ページ、主な成果等の(1)にフレックスタイム制度の導入とありますが、働き方改革の中でとても良い取り組みだと思えます。詳しい中身を説明していただけますでしょうか。

佐々木次長 　　　フレックスタイム制度につきましては、委員ご案内のとおり働き方改革の推進ですとか、新しい生活様式の実践というような観点で、知事部局の方で先行して取組が始まりまして、企業局では、知事部局から若干遅れまして、昨年の4月から制度を導入したものです。

　　　　　　　　具体的な内容につきましては、必ず勤務しなければいけないコアタイム4時間を設定したうえで、始業時間と終業時間を自由に変えることができる制度となっています。ただし、対象者については全職員ということではなく、育児・介護等を行う職員であったり、障がいがある職員であったり、通院治療が必要な職員に限定した取組となっております。

松川委員 　　　　ありがとうございました。

　　　　　　　　フレックスタイムの導入は民間企業では障壁が高いと言いますか、例えば、当社ですと当番制がありますので、当番の時はフレックスを導入できないから入れることができないなどといったことがありますか、企業局の場合は非現業なので労働基準法の対象になっていないということでしょうか。

佐々木次長 　　　先ほどの説明の中でも知事部局のことを申し上げましたが、基本的には知事部局と同じような制度設計の下で行っておりまして、労働基準法の制約とは別次元での組み立てとなっております。

　　　　　　　　現時点では限定的な取組ということになりますので、知事部局の状況等も見ながら今後どのような形で拡大していくかどうかということを検討していく必要があると考えています。

松川委員 　　　　もう1点、経営実績とは関係ないのですが、いわて復興パワーは今年の4月10日で上限に達して募集停止になったのですが、電気料金が上がっているので多くの応募があったと思うのですが、今後の予定は何かあるのでしょうか。

伊藤経営企画 　　いわて復興パワーに関しましては、委員ご指摘のとおり、今年の4月10日に上限に達した状況となっております。この取り組みは令和4年度と令和5年度の期間における東北電力株式会社との電力供給契約に基づく取組ですので、令和5年度末までは募集を停止したままとなります。来年度以降に関しましては、これから電力供給契約を締結することになっております。仮に現在と同じく東北電力と契約することになれば、同様な取組が続いていく

---

ことになると思います。できるだけ多くの方に利用していただけるよう、契約締結後に検討していきたいといます。

明石委員長

そのほかご質問、ご意見等はございませんか。

それでは、令和4年度の経営実績について、様々ご意見をいただきました。ただいま出されましたご意見を取り入れて、最終的な公表内容を確定したいといます。

表現については、委員長に一任させていただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

<異議なし>

ありがとうございます。そのように進めさせていただきます。

### 【 3 議 題 】

(2) 第2期中期経営計画の方向性について

明石委員長

次に「第2期中期経営計画の方向性」の方に入りたいといます。第2期中期経営計画の方向性について事務局から説明をお願いします。

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

#### 資料3 第2期中期経営計画の方向性について

明石委員長

ただ今の説明について、ご質問、ご意見等はございませんか。

濤川委員

今後を考えたときに、水力発電は日本にとって重要なものだと思います。すでに6か所の新規水力発電所の開発可能性調査を実施されているということですが、中期経営計画のどのあたりで運転を開始する予定なのか概略を教えてください。

小西土木・施設担当課長

昨年度6地点の新規水力発電所の開発可能性調査を実施しております。状況といたしましては、有望地点の開発はほぼ完了しておりますので、すでに開発済みの地点を除いた地点を調査しております。経済性や河川の流量などを調査している段階でして、近々に開発につながるか否かは申し上げることはできない段階ですが、最新の情勢を踏まえまして、少しでも可能性を見出すために、今年度も調査を継続していきたいと考えています。実現には時間はかかりますが、企業局としては継続して新規水力発電所の開発に取り組んでいきたいと考えています。

濤川委員

ありがとうございます。

現状では容量等の見通しまでは至っていないという理解でよろしいでしょうか。

小西土木・施設担当課長

おっしゃるとおり、現状では可能性を探っている段階です。具体化にはもう少し時間がかかると考えています。

松川委員

資料3の7ページ、工業用水道事業の課題について、今後も継続的な赤字経営が見込まれるとのことですが、赤字の要因を教えてください。

新聞報道によりますと、老いる工業用水道管ということで、耐用年数は償却年数ですので、40年以上は水道もガスも使いますが、昭和50年頃から事業が始まっておりますから、使用開始から50年近く経過する老管も出てくるということで、工業用水道管の経年管の更新や修繕の計画はどうなっているか教えてください。

---

菅原事業担当 継続的な赤字経営の要因ですが、新北上浄水場建設に伴います企業債の  
課長 償還、あるいは減価償却費が従前に比べて大幅に増加してくるということ  
で、欠損金が累積していくということが、当分赤字経営が継続していく主  
な要因です。これを踏まえまして、ご指摘をいただきました継続的な施設  
の更新・修繕についてですが、昭和50年代に建設がスタートしております  
ので、40年以上経過しております。企業局では、10か年先までの年  
度別事業実施計画を策定し、計画的に修繕等に取り組んでまいりたいと考  
えておりまして、この部分の影響を最小限に食い止めながら、赤字幅を極  
力小さくするよう、安定的な事業運営を目指して取組を進めてまいりたい  
と考えています。

濤川委員 今のお答えに関しまして、先日内閣府が公表しましたウォーターPPP  
の対象に工業用水道事業も含まれておりまして、補助金等もウォーターP  
PPを実施している団体を優先的に採択するという方針が出されているよ  
うです。今後、施設の更新と運転を含めて民間活用することをお考えなの  
でしょうか。また、すでに新北上浄水場はDB方式を採用するなど民間活  
力を上手く活用されていると思いますが、民間活用の考え方は中期経営計  
画に盛り込まれるのでしょうか。

菅原事業担当 第1期中期経営計画においても、民間活力の活用については記載させて  
いただいているところでございます。また、国のウォーターPPPの動向  
課長 につきましても把握しておりまして、委員からご紹介いただきましたと  
おり、新北上浄水場建設事業においてはDB方式を採用したところです。ど  
のような形で民間活力を活用していくことが効率的な運営に繋がるのかを  
考えていく必要があると認識しており、今後、中期経営計画にどのように  
記載していくかを含め検討してまいります。

松川委員 資料3の7ページ、組織力向上と地域貢献の中で、2030年度の県の  
事務事業における温室効果ガス排出量を2013年度比で60%削減とい  
うことで、県全体で掲げている57%よりも高い目標を立てられていて、  
対応の方向性に、CO<sub>2</sub>フリー電気への切り替え、環境性能の高い公用車へ  
の更新との記載がありますが、CO<sub>2</sub>フリー電気への切り替えとは具体的に  
どのような取組なのでしょうか。

また、公用車は電気自動車なのでしょうか。水素自動車は水素ステー  
ションが無いので難しいと思いますが、おそらく民間事業者だと思います  
が、県内に水素ステーションを作る計画があると伺っています。具体的に  
どのように考えているのでしょうか。

伊藤経営企画 CO<sub>2</sub>フリー電気への切り替えについてですが、工業用水道事業施設や本  
課長 局などで使用する電気は一般の電気を購入しておりますので、CO<sub>2</sub>フリー  
電気に切り替えないと60%削減という目標達成が厳しいことから検討し  
ているものです。

また、環境性能の高い公用車ということで、現在であれば電気自動車  
が選択肢だと思います。企業局ではハイブリッド車を導入しており、購  
入時の動向によって、電気自動車や水素自動車が選択肢に入ってくること  
にな



ると考えています。

松川委員 企業局の施設はLED化されているのでしょうか。

伊藤経営企画 新北上浄水場はLED照明を採用しています。

課長 本局は、盛岡地区合同庁舎の管理者が、省エネ性能の高い蛍光灯に交換したと承知しています。

明石委員長 そのほかご質問、ご意見等はございませんか。

それでは、委員の皆様から出されたご意見を参考に、今後の取組を進めて頂きたいと思えます。

### 【 3 議 題 】

#### (3) その他

明石委員長 続きましてその他ですが、事務局から何かありますか。

菊池予算経理 委員長。事務局から令和4年度決算の概要について情報共有させていた  
担当課長 できます。

菊池予算経理担当課長が下記資料に基づき、説明を行った。

#### 参考資料1 令和4年度決算概要

明石委員長 ありがとうございます。その他、事務局から何かありますか。

伊藤経営企画 事務局からはありません。

課長

明石委員長 その他、各委員から何かございませんか。

全体を通してでも構いませんが、何かございませんか。

泉委員 本日の議題とは関係ないのですが、全国植樹祭が行われた時に、ブースを出展されたということで、そちらの来訪者の方々の感触や感想があれば教えてください。

伊藤経営企画 全国植樹祭のブース出展は企業局職員3名で対応いたしまして、来訪者に企業局のPRを行いました。会場の方は多かったものの、ブースに訪れていた方は少なく、企業局のグッズを約300名程度に配布し、PRを行いました。林業関係者の中には企業局を知っていらっしゃる方もおりまして、業界関係者と思われる方がブースの中をご覧になっていました。新たに企業局を知っていただくためには、関連事業以外のイベントにも参加する必要があると感じました。

濤川委員 参考資料1の工業用水道事業の決算では令和4年度は黒字ですが、資料3の7ページでは「継続的な赤字経営が見込まれており」と記載があり、矛盾していると思いますが、どういうことでしょうか。

菅原事業担当 令和4年度までは継続して黒字で、令和5年度以降、完成いたしました新北上浄水場第1期工事分の減価償却の計上が始まるということで、経常収支としては赤字になる見通しで、これが当分の間続くという趣旨で、継続的な赤字経営になることが経営上の課題ということです。

明石委員長 その他、ございませんか。

それでは、本日本日予定しておりました議事は全て終了となります。

スムーズな議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

それでは、残りの進行は、事務局にお返しします。

---

【 4 閉 会 】

佐々木次長 委員の皆様、本日は貴重なご意見、ご助言を賜り誠にありがとうございました。

本日いただいたご意見等につきましては、参考とさせていただきます。業務や課題へ取り組み、中期経営計画を推進してまいりたいと思います。

なお、本日の審議に関する議事録は、後日各委員に照会のうえで、ホームページに公開いたしますのでご了承ください。

閉会に当たりまして、局長から一言御礼を申し上げます

中里局長 本日は長時間にわたり、ありがとうございました。

非常に熱心にご意見を頂戴いたしまして、皆様が常にアンテナを張り巡らせていらっしゃることに感服いたしました。新しい情報をキャッチしていただき、これを踏まえて企業局の事業にご意見をいただきまして、ありがたいことだと思っております。

本日いただいたご意見を踏まえまして、修正が必要なところは修正して、令和4年度の経営評価を確定したいと思いますし、今後の第2期中期経営計画の策定に向けても取り組んでまいります。

また、ご意見を伺う機会がありますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

佐々木次長 それでは、これを持ちまして、令和5年度第1回岩手県企業局経営評価委員会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

---